

第70回通常総代会

議 案 書

2025年6月11日(水)
10時30分～12時40分



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます



コープぐんまは2025国際協同組合年に賛同しています



コープぐんま

「ともに」の力で、笑顔の明日を



理 念

CO-OP

ともに はぐくむ くらしと未来

ビ ジ ョ ン

食べるしあわせ、自分らしいくらし
「ともに」の力で、笑顔の明日を^{あした}

私たちは、助け合いの心と協同の力が生み出す「ともに」の力で
未来をきりひらき、誰ひとり取り残さない社会を創ります

行 動 指 針

組合員のくらしと未来のために
組合員の立場に立って

安心と信頼

挑戦と学び

コミュニケーションと感謝

を大切にします。



co-op
コープアリア

コープみらい いは"らきコープ" とちぎ"コープ" コープぐんま
コープながの コープデリにいがた コープデリ連合会



第70回通常総代会 プログラム・目次

■プログラム

- 開会宣言 (10:30)
- 総代会役員選任
- 理事長挨拶
- 来賓挨拶
- 議案提案・監査報告
- 休憩・20分 (11:30)
- 発言および回答
- 資格審査
- 議場閉鎖
- 採決
- 議場閉鎖解除
- 総代会役員解任
- 閉会宣言
- 終了 (12:40) ※時間はおおよその予定です。

■目次

第70回通常総代会を迎えるにあたって（理事長挨拶）	-----P	2
第1号議案	2024年度事業報告承認の件	
	○2024年度活動のまとめ	-----P 3～
	○事業報告書	-----P 19～
	○決算関係書類	-----P 37～
	○剰余金処分案	-----P 58
	○監査報告書	-----P 59～
第2号議案	2025年度事業計画・予算設定の件	
	○2025年度事業計画	-----P 63～
	○2025年度予算	-----P 76～
第3号議案	役員報酬決定の件	-----P 85
用語説明		-----P 86～
※印は用語説明あり、用語説明は86ページからまとめて掲載しています。		
資料編	-----P	91～

※議案書の数値は、表示している末尾未満を切り捨てています。

コープぐんま第70回通常総代会

- とき 2025年6月11日（水）
午前10時30分～午後12時40分（受付開始午前9時45分）
- ところ ロイヤルチェスター前橋 3階アルハンブラ

第70回通常総代会を迎えるにあたって



代表理事 理事長 大貫晴雄

組合員の皆さまには、日頃よりコープぐんまの事業をご利用いただき誠にありがとうございます。また、組合員活動や募金の取り組みなど多くの皆さまにご参加・ご協力いただいていることに対して心から感謝申し上げます。

日本各地では様々な災害が発生しています。コープぐんまでは、群馬県と35市町村とで災害時における応急生活物資供給等に関する協定を締結し、災害に備えた取り組みを進めています。今年度は、更に一步踏み込んだ包括連携協定の締結を各自治体と協議させていただき、組合員や地域で暮らす皆さんの暮らしに貢献できる取り組みを前進させるべく取り組んでまいります。

昨年は、核兵器の廃絶や被爆者の救済を訴える活動を続けてこられた、日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。しかし、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の長期化、イスラエル軍によるガザ地区での戦闘など、国際情勢は引き続き軍事的な緊張感が高まっています。今年は戦後80年を迎えます。改めて「核兵器のない世界」の実現に向けて、平和の大切さを広める活動など、様々な団体や行政と協力しながら組合員の皆さまの暮らしを守る取り組みを進める一年にしたいと思います。

2025年は国連が定めた「国際協同組合年」となります。この国際協同組合年は2012年にも定められており、同じテーマが2回採択されるのは稀であります。これは協同組合がSDGsの取り組みに貢献していることが認められ、協同組合の人間らしい雇用の創出、貧困と飢餓の解消、教育、社会的保護、金融包摂、経済社会の発展と豊で暮らしやすい地域共生社会の構築などに、より一層貢献することが期待されているものと心しています。

これからも組合員の皆さまとのつながりを大切に、地域とともに力を寄せ合って「誰一人取り残さない社会」を目指して事業と活動をすすめていきたいと考えています。ビジョン2035「食べるしあわせ、自分らしい暮らし、「ともに」のちからで笑顔の明日を」の実現に向けて、2025年度も引き続き活動をすすめる所存でございます。

来年4月にはコープぐんま創立70周年を迎えます。支えていただいている多くの組合員、生産者、お取引先の各皆さま、そして職員に感謝するとともに、この総代会が総代の皆さまの想いを共有できる場になることを願っています。どうぞよろしくお願いいたします。



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

第1号議案 2024年度事業報告承認の件

本議案の議決に関して、趣旨に反しない範囲で、字句の修正を理事会に一任いただきます。
※数値は切り捨てで表記しています。

2024年度活動のまとめ

1. 2024年度事業活動の概況

[ビジョン2035実現に向けた5つの成長方針]

(1) 生協の強みを活かした総合力の発揮とつながりづくり

生活協同組合の強みを活かして、つながりとコミュニケーションを大切にした助け合う地域づくりを進めます。

(2) サステナブル（持続可能）な社会づくりへの貢献

コープデリグループのSDGs 重点目標の実現に向け、持続可能な食・暮らし、環境や平和への貢献を果たす取り組みをさらに進めます。

(3) コープデリグループ全体の組織と人の成長

事業と活動を支える人材の確保を重点に、個人が尊重される組織風土と、一人ひとりが活躍できる場づくりを推進し、誇りとやりがいを持てる組織づくりを進めます。

(4) 組織革新に向けてデジタル・新たな技術を活用

事業や活動の変革に向けて、宅配事業を中心としたシステムの再編を行い、デジタル技術やデータ活用を進めます。また、将来に向け新たな技術を活用した事業を創出します。

(5) 信頼が高まる組織づくりと連帯推進

食の安全性確保やリスクへの対応をさらに強化し、生協への信頼が高まる組織づくりを目指します。



2. 事業経営の取り組み

(1) 総事業高

業態	総事業高	予算比	前年比
宅配	245億6,860万円	99.3%	97.4%
店舗	96億7,409万円	98.6%	98.4%
福祉	1億5,335万円	103.4%	115.0%
共済	2億4,474万円	109.6%	106.4%
本部計	1,419万円	96.1%	103.1%
合計	346億6,768万円	99.2%	97.8%

※電気事業の総事業高は、2,727万円でした（宅配事業に含まれています）。

※移動店舗の総事業高1,269万円は上表に表示していませんが合計には含まれています。

(2) 経常剰余金（※）

業態	経常剰余金	予算差	前年差
宅配	10億1,821万円	+3億6,056万円	-2億7,515万円
店舗	-3億4,983万円	-3,912万円	-2億7,406万円
福祉	-3,913万円	+2,054万円	+1,901万円
共済	6,604万円	+3,844万円	+1,667万円
本部計	0円	0円	0円
合計	6億8,273万円	+3億7,983万円	-5億1,285万円

※経常剰余金：直接剰余金から、更に本部で掛かった経費を差し引いたものです。

※移動店舗の経常剰余金-1,254万円は上表に表示していませんが合計には含まれています。

※これまで、経常剰余金を計算する際に本部管理費は予算を使用していましたが、今年度から実績を使用しています。比較しやすいように前年経常剰余金も実績を使用していますので、事業所別の経常剰余金は第69回総代会議案書と異なりますが、全体の経常剰余金は同じです。

(3) 組合員数・出資金

- ①組合員純増は5,873人で、到達組合員数は357,767人、みなし自由脱退（※）者は1,858人でした。

※みなし自由脱退：住所不明な状態が2年間続いた場合に、年度末に脱退の申し出があったものとして行う脱退手続きのことです。

- ②出資金は63億4,179万円となり、期首から9,021万円増加しました。組合員一人当たりの出資金は17,726円と、期首から39円減少しました。他生協と比べ、組合員一人当たりの出資金が少なく、増資の取り組みが重要です。

3. 商品に関わる取り組み

- (1) 商品調達を確実に進めながら、利用しやすい商品・サービス、迅速な価格対応・販促強化を全事業で進めました。商品の値上げ要請の事案は引き続き多品目となっているため、仕様の見直しや仕入方法改善など、様々な対策で価格対応を進めました。量目の変更は、使い勝手から多くの声をいただくために慎重に判断することとしました。適正な取引と確実な商品調達を行うために多くの商品を値上げしました。
- (2) 7月30日の「生協の日」には、宅配・店舗ともに生協で働く仲間聞いた「いち推しアンケート」の掲載を実施しました。店舗では、7月30日の折込チラシでプロモーションを実施してポイントプレゼントを行いました。宅配では、アンケート上位商品のお知らせと組合員さんの声で改善した商品の特集に取り組みました。
- (3) 2024年度「くらし応援キャンペーン」は、店舗で9月1日～12月1日、宅配は9月1回～11月4回の期間で実施しました。第4四半期は、宅配で感謝プロモーションとして「安さチャレンジ」・「ポイント山分け」・「冷凍庫プレゼント」企画を実施、店舗では「くらし応援年度末キャンペーン」を実施して、CO・OP商品の「品質」と「利用しやすい価格」をあらためて訴求するとともに、NB主力商品の値下げを行うことで、組合員さんのくらしに貢献しました。
- (4) 有機JAS認証の鶏卵を供給していただいている「農業生産法人 黒富士農場」を産直産地に指定し、「CO・OP産直 黒富士農場 オーガニックたまご」として6月24日から宅配で取り扱いを開始しました。
- (5) 全国的な米不足から計画通りの玄米の調達が出来ませんでした。加えて米の需要が増えたために、商品価格の値上げと点数制限、抽選対応等が発生し、組合員さんにご迷惑をおかけする結果となりました。

4. 宅配に関わる取り組み

(1) 供給高、経常剰余金

供給高（商品）は予算、前年を下回りました。ウイークリー太田、前橋、富岡センターとダイレクト宅配が予算を上回りました。経常剰余金は、全ウイークリー事業所で予算を上回り、前年を下回りました。デイリーは全事業所で予算を上回り、前年を下回りました。ダイレクト宅配は予算、前年を下回りました。



宅配事業	実績	予算比（差）	前年比（差）
供給高（商品）	239億5,217万円	99.3% (-1億5,128万円)	99.4% (-1億3,343万円)
経常剰余金	10億1,821万円	+3億6,056万円	-2億7,515万円
(内)電気事業 経常剰余金	1,743万円	+124万円	-3,616万円

(2) 組合員利用の拡大

宅配利用者を増やす取り組みは、4月度、7月度、12月度、1月度、3月度で達成し、営業チームが計画を達成しました。



	実績	計画比（差）
全体※計画 12,500人	12,142人	97.1% (-358人)
配送 チーム	3,034人	82.3% (-652人)
営業 チーム	6,526人	108.5% (+512人)
委託 (配送)	2,209人	78.9% (-591人)
委託 (営業)	151人	—

宅配利用者	実績	計画比（差）
利用人数計画 507万1,835人 のべ利用人数 (年間累計)	499万 8,527人	98.6% (-73,308人)
一人当たり 利用高	4,717円	+42円 (前年差+77円)

（３）はじめてばこお届け２万人到達セレモニー

12月15日（日）県庁31階にて、はじめてばこ2万人到達セレモニーを実施しました。セレモニーと合わせて、子育てママ応援イベント「ハッピー&スマイルキャラバン」による、はいはいレースを開催し、事前にお申し込みをいただいた50名に参加していただきました。

（４）利用をおすすめする取り組み

地域ページでは、上半期の9月2回・9月3回、下半期の3月1回・3月2回、3月3回に宅配委員のおすすめ商品を企画して多くの方にご利用をいただきました。お得なクーポンチラシは年5回（3月4回、6月3回、9月1回、11月2回、1月4回）、生活応援大感謝祭も年5回（4月3回、5月4回、7月4回、10月4回、3月1回）実施して「楽しく・お手頃価格」で多くの組合員に好評の声をいただきました。

（５）子ども交通安全教室の開催

園児を対象にした「子ども交通安全教室」を、10月15日大胡第2こども園様、11月8日粕川幼稚園様でそれぞれ開催しました。延べ100名の園児に参加していただき、園からも継続した開催を希望するお声をいただきました。

（６）職場環境の改善とスキルアップの取り組み

配達コースの適正化に取り組みました。センター長を中心とした「働き方・業務改革タスク」により、改善を進めて、定時で配達が終了できないコースは、8月時点で17コースから12月には7コースとなりました。

対応品質向上会議を月に1回開催して、ABC運動の取り組み状況や次月課題について協議をすすめました。副センター長と地域担当リーダーが参加して、センターのABC運動の推進と組合員対応の改善に向けて役割を発揮しました。



5. 店舗に関わる取り組み

(1) 供給高、経常剰余金

供給高（商品）は、94億2,024万円でした。

経常剰余金は、東久方店、昭和店、宮子店、みさと店で予算を上回りました。

宮子店、藤岡店が経常剰余金で黒字、みさと店が前年よりも伸長しました。来店人数は前年比97.4%と厳しい状況でした。

店舗事業	実績	予算比・差	前年比・差
供給高（商品）	94億2,024万円	98.6%	98.3%
経常剰余金	－3億4,983万円	－3,912万円	－2億7,406万円
電気料金	2億1,053万円	＋175万円	＋5,649万円

(2) コープ寺尾店リニューアルオープン

2024年の重要課題に位置付けて「コープ寺尾店」の改装を実施しました。店内の仕器の入替、冷凍商品の強化、フルセルフレジの導入、床、照明、駐車場など全面改装を実施しました。オープニングセール第一弾は計画比117.3%、前年比197.6%、第二弾は計画比103.5%、前年比127.5%と計画を達成しました。



オープニングセール	計画比	前年比
第一弾	117.3%	197.6%
第二弾	103.5%	127.5%

(3) 対策店舗の取り組み

①みさと店は、2023年3月理事会で修正計画を確認し、供給アップと損益改善を目指して、課題に取り組みました。ショッピングモールとしての魅力を上げるためテナントチラシを作成し集客につなげました。

②藤岡店では、組合員さんから要望をいただいていた「フルセルフレジ」の導入を11月13日（水）から開始しました。

③中野店は、集客の取り組みとして「じゃんけん大会」や「健康チャレンジスタンプラリー」など、お楽しみ企画を開催しました。



(4) 環境配慮の取り組み

5月20日～6月16日にコープぐんま全店でレジ袋削減を目的とした「マイバッグ・マイバスケット普及キャンペーン」を実施しました。コープぐんま全店のレジ袋辞退率は84.1%となり、開始前平均から1%上がりました。

(5) コープデリのファンを増やす取り組み

2023年度に実施した店長研修「コープみやぎ」を参考に毎週土曜日に有人試食（もぐもぐタイム）を実施し組合員さんから好評の声をいただきました。また、「キッズカード」企画を全店で導入しました。子育て世代の来店者が増えるとともに参加しているご家族から好評の声をいただきました。

た。

(6) 移動店舗

営業停止の停留所が5箇所、新たに開始した停留所は5箇所でした。大泉町社会福祉協議会と地域ボランティア団体の協力を得て、新たな停留所準備が進みました。

6. 福祉事業に関わる取り組み

(1) 福祉事業実績

総事業高は予算比103.4%、前年比115.0%でした。経常剰余金は、予算差+2,054万円、前年差+1,901万円でした。



福祉事業	実績	予算比・差	前年比・差
総事業高	1億5,086万円	103.4%	115.0%
経常剰余金	-3,913万円	+2,054万円	+1,901万円

(2) 事業所別の状況

- ①居宅介護支援は、利用登録人数実績282名、計画比48.6%でした。主任ケアマネージャーが欠員のため利用人数計画は大きくマイナスしましたが、既存利用者のプラン作成を重視して取り組みました。また欠員となっていた主任ケアマネージャーが12月2日採用となり、事業継続が可能となりました。
- ②訪問介護は、利用登録人数実績1,225名、計画比101.6%（サービス提供時間実績10,881時間、計画比108.3%）と順調に利用人数確保ができました。利用回数実績13,291回、計画比111.3%。時間単価は5月以降身体介護の構成を高めたため1時間当たり4,006円、計画比111.3%で利用人数と単価ともに計画を上回り事業収入計画達成につながりました。またヘルパー人員が厳しい状況でしたが、介護記録ソフト「ケアウイング」の安定化によりサービス提供責任者業務が軽減された事で利用計画を維持できました。引き続きヘルパーの採用が課題となります。
- ③デイサービスは、利用登録人数実績388名、計画比99.5%、平均介護度2.4（前年差+0.3）でした。総利用回数は実績5,770回、計画比118.3%と大きく超過できた事により日当たり利用人数実績が3月度で24.0人/日（前年差+8.0人/日）まで到達できました。1人当たり単価実績121,874円、計画比121.9%となりました。笑顔のデイサービスを目指し、おやつレク、外出レクの楽しい企画、機能訓練の工夫により利用者満足度が高まった事で外部利用者が3名から8名に増加しました。
- ④サービス付き高齢者向け住宅は、平均入居人数実績33.1名、計画比87.1%でした。4月からの生活支援サービス費の設定により5名の退去者が発生しその後入居率が厳しくなりました。入居者紹介サービス、入居案内チラシを作成し新聞折込と宅配での配布を実施しました。また11月に料金表示と個別利用料金の見直しを行った事で入居率が高まり、3月で40室が満室、入居率100%になりました。

(3) 事例共有

「生協10の基本ケア」の浸透のために毎月推進会議を開催し学習と事例共有をすすめました。1章から8章までの全体学習は終了しました。事例交流を通じて優れた取り組みの共有を行う事ができ上期の事例集を作成しました。

(4) 研修会への参加

「コープ福祉事業連帯機構」が主催する研修会に積極的に参加しました。「訪問介護実践者研修」に訪問介護管理者と施設長の2名が参加し、経営改善（利用、単価、効率）に取り組み、成果につながりました。

経営指導・相談については地域ごとに行われ交流会も実施されました。

(5) 人材確保・人材育成

人事課と連携しながら、ハローワーク、求人広告、人材紹介サービスを活用し人材確保の取り組みを実施しました。

7. 保障事業に関わる取り組み

(1) 共済推進

共済推進は、宅配・店舗業態と協力して積極的な推進活動をおこないましたが、予算比92.7%（宅配92.1%、店舗95.6%）と未達成でした。

共済保有件数は、3月度127,071件で予算比99.6%、予算差-462件、前年比101.3%、純増1,574件で計画を下回りました。

CO・OP共済 (たすけあい・あいぷらす・ ずっとあい・学生総合共済)	実績	予算比
新規加入件数	11,444件	92.7% (宅配92.1%・店舗95.6%)
共済保有件数 *全労済共済を含む *自然災害共済・マイカー共済除く	127,071件	99.6% (予算差-462件・前年比101.3%)

(2) 宅配事業との連携

宅配の苦戦により、下期から、欠員対策も含めた推進体制の変更と共済部からの支援を実施しました。職員の声を取り入れた推進のための会議を開始しました。リーダー会議では、新規アンケートの見直しや、情報連携数増加の為の「アプローチ動画」を作成しました。

(3) 店舗事業との連携

店舗は、9月度に業態達成を目指したキャンペーンを取り組み、修正計画376件に対して実績440件と64件超過して上期業態計画を達成することが出来ました。店舗職員による「お知らせ活動」を全店舗で実施するなど業態と共済部の連携、コープ共済連の支援による相談会等の成功で、前年比106.0%と前年を超える実績となりました。

(4) 寺尾店リニューアルイベントの開催

11月22日（金）～24日（日）までの3日間、寺尾店リニューアルイベントを、共済部や他店舗からの応援と共済連の支援により開催しました。「コーすけがやって来るイベント（着ぐるみ）」による写真撮影会や、お子さん向けのイベント「お菓子すくい」は好評でした。3日間で約300名のお子さんにご参加いただきアンケート回収189枚、イベント時の即日加入は3日間で実績7件、条件8件の獲得に繋がりました。



(5) 全国交流会（札幌市）

全国交流会が札幌で開催され、2023年度宅配部門で全国第3位の表彰を受けました。参加した全国の生協から取り組みを学



8. サービス事業に関わる取り組み

※グループ全体のまとめ

- (1) 物価高の影響から家計の節約志向が高まり、出費を抑えようと支出を減らす傾向が続いています。コープサービスの取り扱い商品を利用することや支出を抑えることも含めて、暮らしへの貢献を目指しました。
- (2) チケット事業では、劇団四季「美女と野獣」「アラジン」「ライオンキング」「アナと雪の女王」「ゴースト&レディ」等の人気チケットを、買取・貸切条件で確保し品揃えを強化しました。ライフナビeチケ（電子チケット）の品揃えはレジャー施設だけでなく、「オダイバ恐竜博覧会」でも取り扱いが実現し、文化村の「鈴木康広展」、「グラン・パレ・イマーシブ永遠のミュシャ」の展覧会でも実施することができました。
- (3) コープデリくらしのサービスでは、エアコンクリーニング・ハウスクリーニング、ふとん丸洗いサービス等を積極的に広報して利用者の増加につなげました。新規のサービスとして、宅配包丁研ぎサービス「ボチスパ」、「電動カート（シニアカー）」を紹介するサービス、「袴レンタルサービス」紹介事業、「ドローンスクール紹介事業」を開始しました。
- (4) 住宅では群馬県内で新築に対応する建築会社、庭木を剪定する会社との新規契約をすすめました。定期的に相談会を開催して組合員さんの要望に応えるよう取り組んでいます
- (5) 葬祭では、宅配組合員へのチラシ配布、ホームページアクセス増加により、資料請求を増やすことが出来ました。

9. 電気事業の取り組み

- (1) 電気事業は、厳しい事業環境にあるため、コープデリ連合会と協力して事業継続と組合員へのくらし貢献を優先して取り組みました。
- (2) 2024年度より、コープデリでんきの推進を再開しました。年間計画200件に対して92件でした。
- (3) 2024年3月31日をもってコープデリでんきベーシックメニューのエネサーブからCDエナジーダイレクトへの移行は無事終了しました。
- (4) 5月度からCDエナジーダイレクトからのベーシックメニューの受取手数料収入が計上されています。取次契約のため、供給高として計上せず、その他事業収入_受取収入として計上し、事業総剰余金に反映しています。
- (5) 大手電力会社の電気料金改定によるベーシックメニューの値下げ、また再生可能エネルギー100%メニューの電気料金における影響について4月22日週よりホームページのほか、電気契約者へダイレクトメールによるお知らせを実施しました。
- (6) 電気事業の手数料収入は、1,575万円、計画差-45万円、計画比97.2%でした
- (7) 地球クラブによる料金改定の要請を受けて、再生可能エネルギー100%契約組合員には丁寧にお知らせをする準備をすすめました。
- (8) 政府による「電気価格激変緩和措置」が2024年5月使用分をもって終了しましたが、8月使用分から再開となりました。1キロワット時当たり、8月・9月は4円、10月は2.5円の補助、2025年1月は、2.5円、2月は1.3円の補助となるため、組合員さんへの対応とお知らせを丁寧にすすめました。

10. 開発室の取り組み

- (1) みさと店のテナントは、すべて契約となりテナント収入は計画に近い実績となりました。
- (2) 旧相生店の土地は、一部をステーションで活用しています。ステーションで活用している以外の土地も「ドラッグ」から出店の申込があり、収入を得る目途がつけました。
- (3) 前橋センターの電気売電は、新たな投資が必要となったために、自家消費100%に切り替える対応を行いました。
- (4) 店舗開発は、東久方店・中野店の移転候補地に絞って物件探査を継続しました。
- (5) 事業所以外の自己所有の土地建物について活用方法の再検討を始めました。

11. 物流事業・生産事業の取り組み ※グループ全体のまとめ

- (1) 2030年を想定した将来のあるべき物流の姿を「2030年将来構想」として、第2回コープデリ連合会理事会で方向性を確認しました。
- (2) 物流2024年問題の対応策として、2023年度から「入出庫予約システム」を導入して待機時間の縮小に取り組みました。加えて自前での配送率向上に向けてトラックの購入や人材採用をすすめて対応しました。

12. システム基盤の整備 ※グループ全体のまとめ

- (1) 2025年の宅配システム刷新に向けて、「2025年総合ネットワークシステム（顧客管理システム）ならびに新宅配基幹システム構築」（以下「2025システム構築プロジェクト」）を継続しました。第1フェーズとして、総合ネットワークシステム、経営ダッシュボード、DWH、組合員システムを2024年10月14日にリリースしました。
- (2) 「宅配物流システム」・「宅配発注商流システム」は、7月に本格稼働しました。いくつかの不具合はありましたが、都度解決し、問題なくリリースできました。
- (3) アプリ関連では、2024年11月宅配アプリ2.0次開発版のリリース、2025年3月ほぺたんアプリ第1ステップのリリースとそれに対応した宅配アプリのリリースを行いました。
- (4) 組合員さんから要望をいただいている宅配利用代金のクレジット決裁の実現は、引き続き2025システム構築プロジェクトですすめています。
- (5) 前年度に続きサイバー攻撃対策を重点課題とし新たに導入したログの改ざん検知システムの運用を開始し、ログ監視範囲の拡大を継続しセキュリティレベルを向上しました。また、CSIRT（セキュリティインシデント発生時の対応チーム）ではCSIRT協議会へ参加し、インシデント対応の演習を実施し、セキュリティインシデント対応力を向上させています。
- (6) サイバー攻撃対策として、引き続き職員の教育をすすめています。訓練用の攻撃メールを活用する教育も定期的にも実施しています。

13. 組合員活動の取り組み

- (1) ブロック委員会
 - ① スマイルコットは全ブロックで開催され、地域の特徴を活かした学習や活動・交流が実施でき、好事例を商品委員会で共有しました。3月までの活動実績はブロック企画合計で99回実施、延べ参加人数は1,097名。スマイルコットは196回実施、延べ参加人数は1,453名



でした。

- ②毎月ブロック委員会で「商品のおおすすめ動画」を作成し、Y o u T u b e にアップして視聴していただくなど、SNSを活用した商品の普及活動を広げ、店舗では「商品おすすめ動画」を該当商品付近で放映することで商品アピールを進め、該当商品利用が大幅に伸長するなど商品普及につながりました。

(2) たべるたいせつ（食育）の取り組み

コープデリ連合会とともに食育の取り組みをすすめました。群馬県内のJAや生産者にご協力いただき、収穫体験・交流会として、JA利根沼田「レタス収穫体験」、下田農園「お米作り体験」、JA婦恋村「キャベツ収穫体験」、カネコ種苗「たねやさんの畑探検」、JA甘楽富岡「下仁田ねぎと大根の収穫体験」、JA佐波伊勢崎「ブロッコリー・アレッタ収穫体験」を開催しました。

(3) コープぐんまフェスタ

今年で2回目となるコープぐんまフェスタは、「つながれ★笑顔の輪」をテーマにビエント高崎で開催しました。約50の生産者・メーカー・関係団体に参加をいただいて試食・販売・SDGs体験コーナー等を企画し、県内外から3,500名の組合員・消費者が来場されました。また初めてのステージイベント（和太鼓・フラダンス・三味線・エプロンシアター）が披露され昨年以上の盛り上がりとなりました。石川県への応援メッセージコーナーでは石川県のみなさんへメッセージカードを書いていたいただきプレゼントと一緒に石川県の組合員へ届けられました。その他、コープぐんまの移動店舗車も登場し、初めてご覧になる方・買い物を体験された方など多くの方に認知される機会となりました。



14. 社会的役割発揮の取り組み

(1) ネイチャークラブ（環境活動）の取り組み

今年度より、環境活動の取り組みに関心のある方を「ネイチャークラブメンバー」として募集しました。メンバーの登録は、27組79名でした（途中申込あり）。メンバーには、年4回の「ネイチャークラブニュース（会報）」を発行し参加できなかったほかの活動も共有することができました。環境の取り組みとして、「春の森林づくり」、「海を学ぼう」、「夏の森林づくり『森の働き』学習と木工体験」、「川辺のがっこう」「ビーチクリーンと大洗水族館バックヤードツアー」「秋の森林づくり～間伐体験・バーベキュー交流会～」 「ヤマメの卵配付会」が開催されました。



(2) 平和の取り組み

- ①2024年度「ピースクラブ」では、7名の子どもたちに参加いただきました。第1回開催では「平和活動におけるコープぐんまの取り組み」や上毛新聞社を講師に招き「新聞の作り方」を学びました。第2回開催では東京都江東区にある「東京大空襲・戦災資料センター」へ学習訪問して取材を行いました。コープみらい地域クラブの平和ガイドの協力を受け、実際に被害を受けた場所を巡るピースウォークを体験しました。第3回開催では「東京



大空襲・戦災資料センター・ピースウォーク」での学びから新聞づくりを行い「ピースクラブニュース」を完成させ、8月5日から宅配をご利用の組合員へ配付しました。第4回開催では「ピースアクション報告会」を行い、前橋空襲体験者の講演やピースアクション in ヒロシマやオキナワ参加者からの報告、ピースクラブに参加をした子どもたちが自身の言葉で感じたことや学んだことの発表が行われました。第5回ピースクラブでは、平和についてのメッセージを葉の形のカードに書いて貼り付けた「平和の木」の制作、自主学習発表と修了式が行われました。

- ②日本生協連主催の「ピースアクション」に参加しました。2024年3月27日～29日「ピースアクション in オキナワ 第41回沖縄戦跡・基地めぐり」に組合員2名、理事1名、事務局（職員）1名の計4名が参加し、沖縄が抱える基地問題や平和について学びました。

2024年8月4日～6日「ピースアクション in ヒロシマ 少女少女ヒロシマの旅」には小中学生5名、高校生ボランティア2名、店舗・宅配から職員が参加し「子ども平和会議」「折鶴奉納」「平和記念式典参列」のほか、生協ひろしまのガイドに説明いただきながら平和記念公園内の碑めぐりなどを行いました。

- ③大人向け平和企画として「予科練平和記念館」バス見学会を開催して22名の方が参加されました。

（3）地域への支援の取り組み

①くらしのたすけあいの会

組合員によるたすけあい活動は463回・2,102時間でした。スキルアップ研修も行いました。

②ほぺたん広場（宮子・広瀬・甘楽・渋川）

ほぺたん広場は子ども1人だけでも入れる食堂です。みんなとおしゃべりしたり、宿題をしたり、お昼ご飯を食べることができます。50会場を開催し、参加人数は963名でした。

③かんがる〜む（宮子）

かんがる〜むは妊娠中のプレママ、未就園児とその保護者を対象に親子で楽しめる場所、お友達との出会いや交流ができる場所として開催しています。2024年度は22会場を開催し、参加人数は115名でした。

- ④県内子ども食堂10団体へ最長3年間の食材購入支援を実施しました。5団体の支援満了を受けて、子ども食堂への新規支援希望団体の募集に、14団体から応募いただき、社会貢献委員会による検討と理事会承認を経て新たに5団体へ支援を行うことにしました。

- ⑤前橋市こどもフードパントリー事業へ協力しました。コープデリグループの桶川流通センターでお届けできなくなった商品を前橋市へ提供しました。

- ⑥米不足支援としてコープぐんまより600kgのお米を寄付しました。支援先は、行政の援助が届きにくい県内の母子生活支援施設・DVシェルター・女性支援施設・児童自立支援施設・フードバンク・子ども食堂です。また、12月にも250kgの寄贈米をいただき、みどの福祉会などを通じて行政の援助が届きにくい県内の母子生活支援施設やフードバンク・子ども食堂などの支援に役立てていただきました。

- ⑦コープぐんまの全店舗と富岡センター・北部センター・沼田センターでフードドライブに取り組み、累計2210kgの食品をお預かりしました。フードバンクや社会福祉協議会などにお届けしました。

- （4）産地とのパートナーシップを深め、持続可能な生産と消費に貢献する取り組みを進めました。4つのプロジェクト「ハッピーミルクプロジェクト」「美ら島応援もずくプロジェクト」「佐渡トキ応援お米プロジェクト」「お米育ち豚プロジェクト」に継続して取り組みました。「沖縄・伊平屋島 産地交流・研修会」「JA佐渡 産地交流・研修会」「JAいわて花巻（お米育ち豚産地）産地交流・研修会」に参加しました。

(5) コープぐんまの奨学金制度

①奨学金制度

高校生を対象にした奨学金制度は2年目を迎えました。二期目の応募者61名の中から奨学生選考委員会で奨学生19名を選考しました。2023年度採用の奨学生15名と合わせて2024年度の奨学生は34名となりました。



②奨学金応援サポーター

奨学生へ給付する奨学金は、「奨学金応援サポーター」として登録いただいた組合員の寄付から給付しています。3月24日現在、奨学金応援サポーターの登録は1,532名、登録口数（一口100円）は合計7,215口となりました。ご協力いただきありがとうございます。

(6) 募金のご報告 2024年度募金実績（2024年3月21日～2025年3月20日） 繰越金含め、募金は以下に使われました。たくさんのご協力ありがとうございました。

募金名	募金額	ご報告
ユニセフ (一般募金)	1,026,769円	現金やポイントで89万7,515円、年末に各店舗で行ったハンド・イン・ハンド募金で12万9,254円をお預かりしました。日本ユニセフ協会へ2024年8月に100万1,587円を送金しました。日本ユニセフ協会を通じて、世界中の恵まれない子どもたちへの支援に活用されます。
ふくしま復興 応援募金	716,397円	福島県「東日本大震災ふくしまこども寄附金」と福島県「災害復興寄附金」へ（2025年3月に）2024年度繰越金と合わせて各20万円を送金し、残りの金額は2025年度に繰り越しました。
平和募金	300,348円	ピースアクションinオキナワ、ピースアクションinヒロシマが開催され、組合員を代表派遣しました。代表派遣費用の一部として69万210円を活用しました。
ユニセフ (指定募金・ ハッピーミルクプ ロジェクト)	391,322円	コープぐんまでは337万8,064本の牛乳が購入され 寄付金は67万5,613円となり、コープデリ連合会を通じて日本ユニセフ協会（コートジボワール共和国指定募金・アフリカ栄養危機緊急募金）に送金されました。宅配で現金やポイントでお預かりした391,322円は、別途日本ユニセフ協会へ送金を予定しています。
奨学金応援 サポーター 募金	8,359,678円	第1期・第2期奨学生34名へ合計408万円を給付しました。奨学金応援サポーターは1,532名の方に7,215口の登録をいただいています。

令和6年能登半島 地震緊急支援募金 (2024/1/8～ 2024/3/31)	2,316,328円 (総額 27,161,956円)	2023年度から2024年度にかけて行われた「令和6年能登半島地震緊急支援募金」は、総額2,716万1,956円となり、コープデリ連合会を通じて送金しました。石川県・富山県・新潟県などの被災地域の自治体を通じて被災された方々への義援金及び被災地の復旧活動費および産直産地の復旧支援に活用しました。
台湾東部沖地震 緊急支援募金 (2024/4/9～ 2024/5/12)	1,538,686円	コープデリ連合会を通して日本赤十字社本社へ送金しました。台湾赤十字組織が行う救援・復興支援活動および防災・減災事業等に活用されました。
令和6年能登半島 地震及び 能登豪雨災害緊急 支援募金 (2024/9/27～ 2025/1/12)	10,174,936円	960万1,048円をコープデリ連合会を通じて送金しました。被災者への義援金をはじめ被災地の復旧活動費用として活用されます。また、一部はコープぐんまが行う支援活動費用として活用させていただく予定です。

①2023年度決算にもとづく社会貢献活動として、上毛新聞厚生福祉事業団「愛の募金」、群馬県立小児医療センター、佐藤交通遺児福祉基金、群馬ひまわりの会へ総額600万円の寄付を行いました。

②2024年1月から5月にかけて集められたはがきや切手をブロック委員・組合員理事・職員で仕分け作業ボランティアを行い、仕分け作業にかかる費用を抑えて換金することができました。その寄付金を群馬県協同募金会（赤い羽根募金）へ贈呈しました。組合員の皆さまより集められた金額は217万3,717円となりました。

（7）未来つながり助成

「組合員のくらし」と「地域のニーズ」を協同の力で実現する社会を作っていくため、「未来つながり助成」として10団体へ助成を決定し、2024年10月24日に贈呈式・交流会を行いました。未来つながり助成は2001年からスタートし、寄付は199団体1048万円となりました。



●2024年度助成団体一覧

団体名	所在地	活動内容
NPO 法人 エコ・ボランティア	前橋市	ホタルが生息する小川の管理・整備を行い、親子一緒に学ぶホタルの学習会や見学会を開催している。
NPO 法人 きらきら	前橋市	放課後等デイサービスと児童発達事業を運営。子育て相談や手話教室・交流会を実施。

NPO 法人 リデザインマネジメント研究所	前橋市	「LIFORT」プロジェクトとして、空き家を学氏自身で改装し、地域整備・交流も行いながら、学生が住みたくなる空間づくりを前橋工科大学と一緒にやっている。
NPO 法人 iitoko	高崎市	障害を持つ子どもや不登校の子ども及び保護者が参加できる場づくりを行っている。
いこいの家 庵	大泉町	高齢者の居場所づくりを毎週開催。
Cafe あじさい	渋川市	地域の人の居場所となり、軽食を取りながら手芸等を行っている。
たまむら龍神の風	玉村町	玉村町名伝説をもとにした野外劇「天翔ける龍」の伝承を行っている。
いぬねこ組	前橋市	保健所からの依頼でミルクボランティアや個人からの保護の相談やお手伝いを行っている。
妙義 Dream プロジェクト 実行委員会	富岡市	地域おこしとして、アートトラック・妙義山イルミネーションフェスティバルを開催。
里山ガーデン	沼田市	環境美化、アサギマダラを呼び込み、市内の生態観察の場づくりを行っている。

(8) コープぐんまは群馬県に加えて33市町村と「地域見守り協定」を締結し、業務の中で事案が発生した際に行政と連携を取っています。2024年度は9件の事例が発生しました。

15. 組織全体の取り組み

(1) 事例発表会

「笑顔のある元気な職場づくり」を目的として、コープぐんままで働く職員がお互いの事業活動を知り、交流の場となる事例発表会を2025年2月8日（土）に開催しました。全業態の職員と2025年度の新入職員を含む224名が参加しました。



(2) 職員割引企画の実施

職員がコープ商品を知り、ファンになるきっかけづくりとするため、2024年度も4回の職員割引を実施しました。

(3) 広報活動

広報活動強化を継続し、プレスリリースの回数を増やすだけでなく、マスコミとの交流から情報提供を行いました。上毛新聞やFMぐんまなどマスメディアへの露出を高めました。上毛新聞「子ども新聞 週刊風っ子」7月28日発行号で3ページに亘る特集記事として掲載いただきました。また、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）での情報発信では、Instagramを活用して店舗・宅配・福祉事業の情報発信を積極的に行いました。

(4) 安心して働き続けられる職場環境づくり

- ①仕事と育児・家庭の両立を支援してきました。2022年の法改正を機に男性の育児休職取得者が増加しています。また、子の看護休暇や育児時短制度の利用者も増加しています。
- ②入職後2年目3年目の正規職員を対象に、職員の「仕事のやりがい向上」「理念への共感」「離職率の低減」を目的にした学習・交流会「もっと知ろう！コープの魅力発見会」を開催しました。日本生活協同組合連合会ブランド戦略本部より講師を招いたコープ商品の学習や、組合員理事による組合員活動の学習など実りある学習・交流会となりました。
- ③女性職員交流会を開催しました。23名の女性職員が参加し、仕事や子育ての悩みなどを共有しました。普段の業務では関わることの少ない職員とも交流することができました。
- ④2024年3月の幹部会議にて、「社員が知っておくべきLGBTQの基礎知識」をテーマとした講演会を行い、性の多様性に対する理解を深めました。
- ⑤新卒採用者を対象とした「奨学金返済支援制度」を2025年度から導入することについて採用情報として発信しました。

2024年度

- I 事業報告書
- II 事業報告書の附属明細書
- III 決算関係書類
- IV 決算関係書類の附属明細書
- V 剰余金処分案

(監事) 監査報告書

(公認会計士) 監査報告書

I. 事業報告書

1. 事業活動の概況に関する事項

(1) 事業年度の末日における重要な事業活動の内容

主要な取扱事業種目等

事業種目	主な事業品目等
供給事業	生鮮食品、一般食品、家庭用品、衣料品等を直接またはカタログを使用して組合員に供給する事業
利用事業	共済・保険などの保障事業、斡旋などサービス商品
福祉事業	訪問介護・居宅介護支援・通所介護・サービス付き高齢者向け住宅

(2) 事業の経過およびその成果ならびに対処すべき重要な課題

1. 2024年度の事業経過および成果

組合員の生涯にわたるくらしと持続可能な社会づくりに貢献できるよう様々な取り組みを進めました。

- (1) 「コープデリグループビジョン2035」を広くお知らせしていくとともに、ビジョン実現を目指した取り組みを進めました。
- (2) 組合員が安心して利用できるよう、誰もが利用できる商品・サービスを提供し、組合員・消費者のくらしを守ることを優先して取り組みました。
- (3) 人口動向やコストの構造変化を踏まえて、将来を見据えた収益構造の見直しを各事業で進めました。継続的に利用することができるようにサービスやシステムのあり方を検討しました。
- (4) さまざまなつながりづくりを進め、多くの組織や協同組合と連携して、将来の展望を切り開き、組合員と地域社会への貢献を果たし、誰ひとり取り残さない地域社会づくりを進めることを目指しました。
- (5) 「コープデリグループのSDGs重点課題」の目標達成を目指し、「未来へつなごう」の取り組みを継続しました。食料自給力向上など食にまつわる課題や地球規模の環境問題、平和問題に貢献できるよう推進しました。
- (6) 職員の採用や離職防止、組合員活動の参加の広がりや担い手づくりの取り組みを推進しました。健康経営を推進し、職員の働き方の見直し、多様な組合員活動を目指しました。
- (7) 事業や活動の変革に向けて、宅配事業を中心としたシステムの再編を検討しました。また、将来に向けて新たな技術を活用した事業の検討を進めます。コープぐんまのさまざまなサービスに対応する総合的なアプリとして「ほぺたんアプリ」の開発を進めました。
- (8) コープぐんまへの信頼感が高まるように食品の安全性確保に取り組みました。あわせて、頻発する自然災害に対する事業継続計画の見直し、感染症や熱中症の予防対策と安定した商品供給、サイバー攻撃に備えた訓練などコープデリグループ全体の力で進めました。
- (9) 総事業高は、346億6,768万円、事業総剰余金は85億5,655万円、事業経費は80億6,578万円、経常剰余金は、6億8,273万円でした。期末の組合員は、5,873人増加し35万7,767人となりました。出資金は63億4,179万円となりました。

2. 対処すべき重要な課題

- (1) 2030年までに高齢者人口がさらに増加します。また県内でも、人口や世帯人数の増減状況の地域差が拡大しています。このことから、地域ごとのニーズに応じたサービスの提供が必要となります。
- (2) 3年ごとに実施される全国生協組合員意識調査によると、物価高騰により2024年度の組合員の1カ月当たりの生協利用金額は増加していますが、価格への敏感さは増しています。また、税制や社会保障のあ

り方について検討が進み、消費者行動や購買力に影響を与えています。

- (3) 社会環境や経済環境により、さまざまな業種で人手不足となり雇用の流動性が高まっています。働きやすい環境の整備や動機付けが重要です。また、環境や社会課題、適切な内部管理のあり方、人権を尊重した取り組みが求められ、企業の社会的責任が注視されています。さらに、デジタルや社会福祉（介護）分野などの専門的人材の不足は社会問題化しています。
- (4) 消費者の環境意識はさらに高まり、エコ商品や持続可能な取り組みが求められます。2025 年は被爆・戦後 80 年の節目の年にあたるほか、国連は、SDGs に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、国際協同組合年に決めました。
- (5) EC サイトやアプリの利用が増加しています。オンラインとオフラインを含めた販売の強化が求められるほか、SNS やデータの活用で、消費者の選択肢が増える中、特徴を明確にした取り組みが求められます。また、デジタルや AI を活用し、生産性を高める取り組みがますます大切になっています。オンラインマーケットは、食品の販売、サービス分野での伸びが顕著となっています。
- (6) 地震や異常気象に伴う災害が頻発しています。2024 年 1 月に発生した「令和 6 年能登半島地震」や 9 月の大雨で被災された方が、日常を取り戻していくための継続的な支援活動や、さまざまなリスクを想定した事業計画が重要になっています。また、異常気象や社会環境の影響により農産物などの生産や収穫状況が変化し、価格や商品販売にも影響が出てくることも考えられます。
- (7) 上記のような環境認識のもと、以下を重点課題とします。
 - ① 組合員が安心して利用できるよう、誰もが利用できる商品・サービスを提供し、組合員消費者のくらしを守ることを優先して取り組みます。人口動向やコストの構造変化を踏まえて、将来を見据えた収益構造の見直しを各事業で進めます。継続的に利用することができるようにサービスやシステムのあり方を見直します。
 - ② 事業と組合員活動が連携した「コープぐんまの総合力」を発揮します。さまざまなつながりづくりを進め、多くの組織や協同組合と連携して、将来の展望を切り開き、組合員と地域社会への貢献を果たし、誰ひとり取り残さない地域社会づくりを進めることを目指します。
 - ③ 持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進します。「コープデリグループの SDGs 重点課題」の目標達成を目指し、「未来へつなごう」の取り組みを継続します。食料自給力向上など食にまつわる課題や環境問題に取り組みます。地球規模の平和に貢献できるよう推進します。
 - ④ 職員や組合員活動の担い手確保の取り組みを推進します。多様な考えを尊重したコミュニケーションを大切にするとともに、一人ひとりがやりがいを持って、イキイキと輝ける組織づくりを進めます。
 - ⑤ デジタル技術やデータの活用を進めます。また、将来に向けて新たな技術を活用した事業やサービスの検討を進めます。
 - ⑥ コープぐんまへの信頼感が高まるように、食品の安全性確保の取り組みや、より健全な運営を進めます。頻発する自然災害への対策に関する事業継続計画の見直し、感染症や熱中症の予防対策と安定した商品供給、サイバー攻撃に備えた訓練や対応をコープデリグループ全体の力で進めます。

（詳しくは第 2 号議案「2025 年度事業計画・予算設定の件」に記載しています。）

① 直前3事業年度の財産および損益の状況

(単位：人・千円)

項目	2021年度	2022年度	2023年度	本年度
組合員数	335,593 人	346,569 人	351,894 人	357,767 人
出資金額	6,005,540 千円	6,159,760 千円	6,251,580 千円	6,341,798 千円
総事業高	35,196,292	35,605,994	35,426,766	34,667,684
供給高	34,101,154	34,406,500	34,192,018	33,396,048
利用事業収入	59,809	-	-	-
福祉事業収入	119,741	121,192	130,812	150,862
その他事業収入	915,587	1,078,300	1,103,935	1,120,774
経常剰余金	1,319,667	734,569	1,195,595	682,739
総資産	18,181,879	18,479,043	19,656,853	19,673,953
純資産	11,851,527	12,111,801	13,075,979	13,633,177

② 供給事業の状況表

(i) 部門別・業態別供給高の状況

(単位：千円)

項目	2021年度	2022年度	2023年度	本年度
〔部門別供給高〕				
生鮮食品	7,963,150	8,053,665	7,893,581	7,669,867
日配食品	11,850,660	12,435,406	12,710,922	12,582,971
加工食品	8,266,337	8,321,711	8,322,796	8,486,130
家庭用品	3,589,108	3,469,847	3,341,939	3,267,720
その他	2,431,897	2,125,870	1,922,779	1,389,358
合 計	34,101,154	34,406,500	34,192,018	33,396,048
〔業態別供給高〕				
グループ	8,366,085	8,057,234	7,822,000	7,594,215
個配	15,757,574	15,837,290	15,852,343	15,952,513
夕食宅配	346,646	352,524	344,767	328,954
ダイレクト宅配	185,723	72,536	69,367	76,540
電気	494,823	653,009	510,922	11,465
コープデリ宅配事業計	25,150,851	24,972,595	24,599,402	23,963,690
S M店	8,948,133	9,421,382	9,579,565	9,420,244
店舗事業計	8,948,133	9,421,382	9,579,565	9,420,244
移動店舗	2,168	12,522	13,050	12,112
合 計	34,101,154	34,406,500	34,192,018	33,396,048

(注) ①生鮮(農産・水産・畜産)、日配(日配・加工肉・パン・牛乳たまご・冷凍食品・惣菜・ベーカリー)、加工(菓子・食品・米・酒)、家庭(住関連・衣料)、その他(カタログ・テナント等)

②ダイレクト宅配は、産地や工場から直接組合員宅に、宅配便で商品をお届けするサービスのことをいいます。

③コープデリでんきベーシックメニューは、2024年4月1日より供給事業から取次事業に変更しており、電気事業供給高が減少しています。取次事業の手数料については、その他事業収入として表示しています。

(ii) 供給高の事業所別内訳

コープデリ宅配センター (単位：千円)

事業所の名称	供給高
桐生センター	2,798,537
太田センター	2,985,809
前橋センター	4,964,407
北部センター	2,541,409
沼田センター	1,743,852
藤岡センター	2,889,053
富岡センター	2,334,283
高崎センター	3,289,375
コープデリ宅配計	23,546,729
夕食宅配桐生事業所	57,766
夕食宅配太田事業所	70,301
夕食宅配前橋事業所	96,688
夕食宅配高崎事業所	104,198
夕食宅配計	328,954
ダイレクト宅配	76,540
コープデリ宅配事業計	23,952,224

電気事業 (単位：千円)

事業所の名称	供給高
電気事業	11,465

店舗 (単位：千円)

事業所の名称	供給高
コープ東久方店	538,997
コープ新井店	874,270
コープ昭和店	1,291,306
コープ中野店	912,091
コープ宮子店	1,296,673
コープ寺尾店	1,474,732
コープ藤岡店	1,722,457
コープみさと店	1,309,715
店舗事業計	9,420,244
移動店舗(中野)	12,112

総合計	33,396,048
-----	------------

③ 受託共済事業状況表

(i) 加入者数の状況

(単位：件)

共済事業の種類	元受団体名		加入者数(または契約件数)		
	元受団体名	コース等	本年度	前年度	前年比
総合共済	コープ共済連	総合共済計	40,667	41,973	96.8%
こども共済	コープ共済連	こども共済計	36,089	35,111	102.7%
あいぶらす	コープ共済連	一般・ゴールド計	29,941	30,035	99.6%
終身共済	コープ共済連	生命計	2,831	2,866	98.7%
		医療計	11,901	10,779	110.4%
学生総合共済	コープ共済連	学生計	1,215	807	150.5%
		新社会人計	975	528	184.6%
火災共済	全労済	木造計	2,851	2,806	101.6%
		鉄筋計	438	424	103.3%
		マンション構造	94	94	100.0%
自然災害共済 火災契約に付帯	全労済	木造計	1,202	1,142	105.2%
		鉄筋計	215	199	108.0%
		マンション構造	40	42	95.2%
生命共済新あいあい	全労済	基本契約件数計	69	74	93.2%
マイカー共済	全労済		2,232	2,107	105.9%
合 計			130,760	128,987	101.3%

(ii) 元受団体共済掛金および共済金支払の状況

(単位：千円)

共 済 事 業 の 種 類		元受団体共済掛金			共済金支払件数			共済金支払額		
	元受団体名	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比
総合共済	コープ共済連	1,012,595	1,034,455	97.8%	7,800	7,985	97.6%	462,727	429,711	107.6%
こども共済	コープ共済連	508,274	490,623	103.5%	8,438	8,166	103.3%	304,347	256,577	118.6%
あいぶらす	コープ共済連	788,040	791,112	99.6%	2,400	2,350	102.1%	301,180	235,641	127.8%
終身共済	コープ共済連	583,559	547,575	106.5%	1,914	1,643	116.4%	90,829	91,888	98.8%
学生総合共済	コープ共済連	32,603	19,143	170.3%	186	98	189.7%	11,962	5,986	199.8%
火災共済	全労済	48,283	47,037	102.6%	61	132	46.2%	11,964	21,674	55.2%
自然災害共済	全労済	40,936	32,878	124.5%	18	52	34.6%	6,939	22,970	30.2%
生命共済 新あいあい	全労済	10,148	10,728	94.6%	14	44	31.8%	752	23,205	3.2%
マイカー共済	全労済	91,486	84,985	107.6%	193	217	88.9%	72,425	96,124	75.3%
合 計		3,115,929	3,058,537	101.8%	21,024	20,687	101.6%	1,263,129	1,183,779	106.7%

④ 福祉事業の状況

(i) 福祉事業収入の状況表

(単位：千円)

項 目	本年度
介護保険事業	91,464
介護保険事業 以外の事業	
サービス付き高齢者向け住宅	54,323
独自事業その他	5,074
合 計	150,862

(ii) 福祉事業状況表

項 目 種類		利用者数(人)			利用時間数(時間)			利用高(千円)		
		本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比
介護保険事業	居宅介護支援	258	391	65.9%	-	-	-	3,167	4,395	72.0%
	訪問介護	1,224	1,137	107.6%	10,881	9,693	112.2%	43,565	35,752	121.8%
	通所介護	390	330	118.1%	-	-	-	44,731	31,753	140.8%
	小計	1,872	1,858	100.7%	10,881	9,693	112.2%	91,464	71,902	127.2%
介護保険事業 以外の事業	サービス付き 高齢者向け住宅	397	424	93.6%	-	-	-	54,323	54,096	100.4%
	独自事業その他	124	227	54.6%	-	-	-	5,074	4,813	105.4%
合 計		2,393	2,509	95.3%	10,881	9,693	112.2%	150,862	130,812	115.3%

⑤ その他事業収入状況表

(単位：千円)

項 目	2021年度	2022年度	2023年度	本年度
基本手数料	248,597	265,612	270,866	272,874
配達手数料	130,567	134,931	133,084	130,616
配達手数料収入計	379,165	400,544	403,951	403,490
総合共済	161,591	156,733	156,791	153,433
こども共済	44,962	50,054	50,366	51,695
火災共済	15,087	15,866	16,797	16,800
生命共済	113,294	114,866	114,396	114,793
終身共済	39,140	42,415	43,651	44,525
学生共済	-	1,056	2,825	4,925
共済受託収入計	374,075	380,992	384,829	386,173
テナント収入	83,025	169,053	189,526	190,936
店舗店頭使用料	4,512	4,387	4,548	4,067
その他受取手数料	74,809	123,322	121,078	136,107
その他受取手数料計	162,346	296,763	315,153	331,111
合 計	915,587	1,078,300	1,103,935	1,120,774

(3) 増資および資金の借入れその他の資金調達状況
資金調達内訳表

該当する事項はありません。

(4) 所有する施設の建設または改修その他の設備投資状況

設 備 名	所 在 地	摘 要
コープ寺尾店	群馬県高崎市寺尾町552-1	2024年11月22日改装開店

(5) 他の法人との業務上の提携

業務提携先	住所	提携内容
日本コープ共済生活協同組合連合会	東京都渋谷区	業務受託

(6) 他の会社を子会社等および関連法人等とすることとなる場合における当該他の会社の株式又は持分の取得

該当する事項はありません。

(7) 事業の全部または一部の譲渡または譲受け、合併（当該合併後当該生協が存続するものに限る）その他の組織の再編成

該当する事項はありません。

(8) 教育事業等の状況

(単位：千円)

項 目	金 額
当期に繰り越された教育事業等繰越金	50,000

教育事業等の使途

(単位：千円)

科 目	内 容	金 額
教育文化費	情報誌、ブロック委員会活動、コープ会活動、商品活動、産地・工場見学費用、福祉活動、環境活動、平和活動、他	65,259
研修費	階層別研修、通信教育、日生協主催研修会、コープデリ連合会主催研修会、他団体主催研修会、他への研修	17,246
合 計		82,506

2 運営組織の状況に関する事項

(1) 前事業年度における総代会の開催状況

総代会の議決状況

総代会開催日		2024年 6月 12日
総代会日現在総代数		394人
出席総代	本人	193人
	代理人（委任）	3人
	書面	183人
	計	379人
重要な議事および議決事項と結果		
第1号議案	2023年度事業報告承認の件 原案の通り賛成多数で承認可決された。（反対 2票）	
第2号議案	2024年度事業計画・予算設定の件 原案の通り賛成多数で承認可決された。（反対 6票）	
第3号議案	ビジョン2035策定の件 原案の通り賛成多数で承認可決された。（反対 1票）	
第4号議案	役員選任の件 原案の通り賛成多数で承認可決された。（反対 3票）	
第5号議案	役員報酬決定の件 原案の通り賛成多数で承認可決された。（反対 6票）	

(2) 組合員に関する事項

組合員出資金等増減表

区 分	組合員数（人）	口 数（口）	組合員出資金総額（千円）
当期首現在	351,894	6,251,580	6,251,580
当期増加分	16,461	660,617	660,617
当期減少分	8,730	563,008	563,008
住所不明組合員 みなし脱退	1,858	7,390	7,390
当期末現在	357,767	6,341,798	6,341,798

(注) ①出資金1口は1,000円です。

②組合員1人当たりの出資金は17,726円です。

③組合員数は、法人加入を除いて表示しています。

住所不明組合員のみなし脱退手続き

区分	組合員数(人)
公示長期住所不明組合員数（2024年12月20日時点）	1,860
2024年12月21日～2025年3月20日の期間の本人の申し出による判明者	2
長期住所不明組合員の脱退者数（2025年3月20日確定）	1,858

(3) 役員に関する事項

① 役員一覧表

役 名	氏 名	担 当	兼 務 状 況
理 事 長 (代表理事)	大 貫 晴雄		2022年就任 コープデリ生活協同組合連合会理事 群馬県生活協同組合連合会会長 日本生活協同組合連合会監事 群馬県労働者福祉協議会理事 群馬県労働者生活協同組合理事 群馬県消費者団体連絡会会長
専務理事 (代表理事)	山 口 真司		2022年就任 コープデリ生活協同組合連合会常任理事 株式会社コープデリフーズ取締役 群馬県生活協同組合連合会理事
常務理事	杉本 真佐己		2018年就任 N P O法人消費者支援群馬ひまわりの会理事
理 事	藤井 啓太郎		2020年就任
理 事	園田 哲男		2016年就任 社会福祉法人圓会理事長 学校法人高千穂学園高千穂大学 名誉教授
理 事	小此木 久美子		2016年就任
理 事	中道 美代子		2016年就任 上毛新聞社営業局事業部
理 事	原澤 裕		2022年就任 利根保健生活協同組合専務理事 群馬県生活協同組合連合会常務理事 群馬医療事業協同組合理事長
理 事	斎藤 匠		2022年就任 弁護士 N P O法人消費者支援群馬ひまわりの会理事長
理 事	成田 章二		2022年就任 生活協同組合コープみらい常務理事 コープデリ生活協同組合連合会常務理事
理 事	新井 弓佳	全域組合員理事	2022年就任 コープデリ生活協同組合連合会理事
理 事	野原 多香子	全域組合員理事	2022年就任 群馬県生活協同組合連合会副会長理事 群馬県生活協同組合連合会女性協議会会長
理 事	宮口 ゆきみ	全域組合員理事	2024年就任
理 事	橋爪 寛子	全域組合員理事	2024年就任 群馬県生活協同組合連合会理事
理 事	松島 典子	東毛ブロック	2020年就任
理 事	渡邊 里枝子	東毛ブロック	2022年就任
理 事	滝川 愁子	西毛ブロック	2024年就任
理 事	工藤 洋子	西毛ブロック	2020年就任
理 事	野口 美里	中毛ブロック	2022年就任
理 事	田中 弥生	中毛ブロック	2022年就任
理 事	角田 みち江	北毛ブロック	2020年就任
理 事	黒岩 安希	北毛ブロック	2024年就任
監 事	尾藤 篤		2022年就任 学校法人平方学園監事 公益法人群馬県教育文化事業団監事 一般社団群馬県老人クラブ連合会監事
監 事	長岡 伸明		2022年就任
監 事	山端 佐代子		2018年就任
監 事	女屋 美由紀		2024年就任
監 事	木樽 千恵子		2024年就任 群馬県生活協同組合連合会監事

② 辞任した役員

本事業年度中に辞任した役員はいません。

③ 役員賠償責任保険契約

当生協が2023年度第7回理事会決議にて加入した役員賠償責任保険契約の内容の概要は以下のとおりです。

- (i) 保険名称：日本生活協同組合連合会の生協役員賠償責任保険（会社役員賠償責任保険）
- (ii) 保険契約者：日本生活協同組合連合会
- (iii) 保険期間：2024年4月1日～2025年4月1日
- (iv) 被保険者の範囲
当生協のすべての理事・監事・執行役員（非常勤役員を含む）
- (v) 保険契約の内容の概要
被保険者が（iv）の生協の役員としての業務につき行った行為（不作為を含む）に起因して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害賠償金や争訟費用等を補償するもの。ただし、贈収賄などの犯罪行為や意図的に違法行為を行った役員自身の損害等は補償対象外とすることにより、役員等の職務の執行の適正性が損なわれないように措置を講じている。保険料は全額当生協が負担する。

（4）職員数およびその増減その他の職員の状況

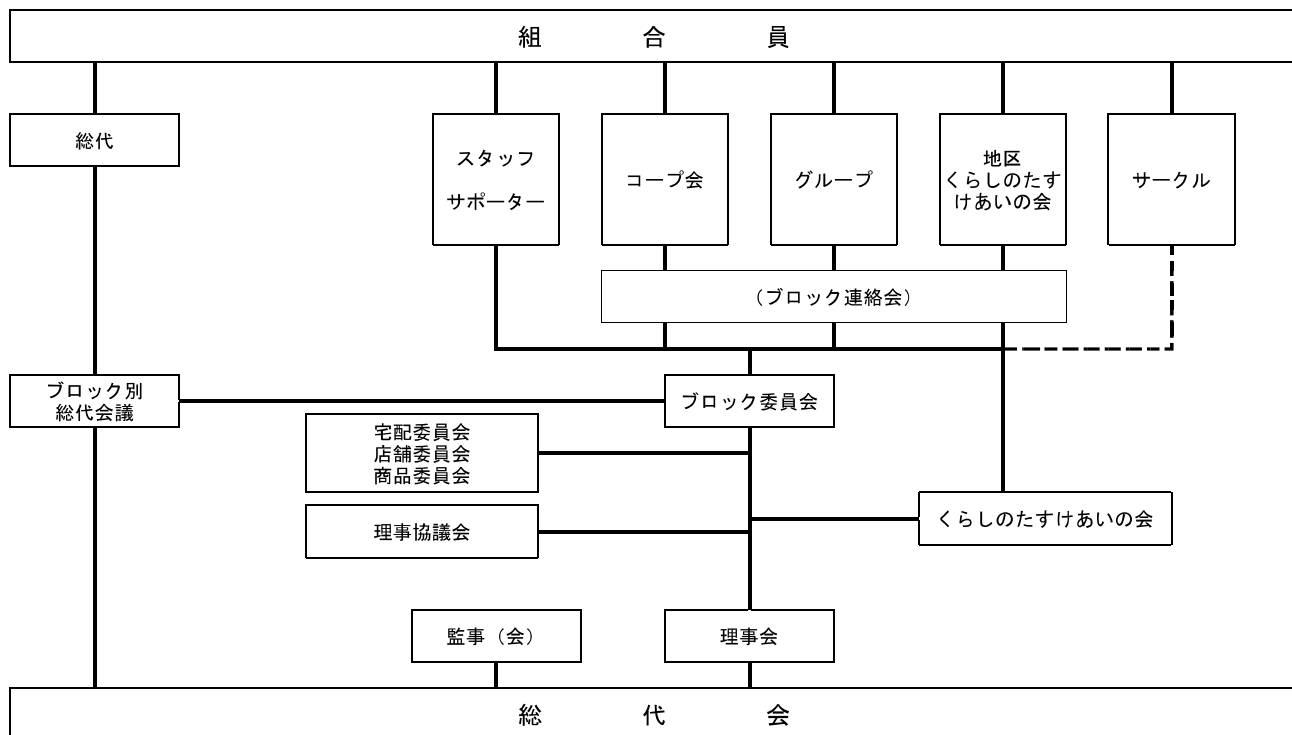
職員状況表

区 分	前期末数			当期末数			平均年齢/平均勤続年数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
正規職員 (総合職)	176人 (205人)	41人 (43人)	217人 (248人)	179人 (203人)	45人 (47人)	224人 (250人)	43歳4ヶ月 18年7ヶ月 (44歳7ヶ月) (19年11ヶ月)	41歳2ヶ月 12年1ヶ月 (40歳9ヶ月) (11年11ヶ月)	42歳11ヶ月 17年3ヶ月 (43歳10ヶ月) (18年5ヶ月)
正規職員 (専任職)	60人 (60人)	73人 (73人)	133人 (133人)	58人 (58人)	70人 (70人)	128人 (128人)	35歳5ヶ月 3年11ヶ月 (35歳5ヶ月) (3年11ヶ月)	50歳0ヶ月 7年3ヶ月 (50歳0ヶ月) (7年3ヶ月)	43歳5ヶ月 5年9ヶ月 (43歳5ヶ月) (5年9ヶ月)
パート職員									
総 数	152人 (152人)	798人 (801人)	950人 (953人)	152人 (152人)	763人 (766人)	915人 (918人)			
正規換算数	54.5人	392人	446.5人	54.1人	379.9人	434.1人			

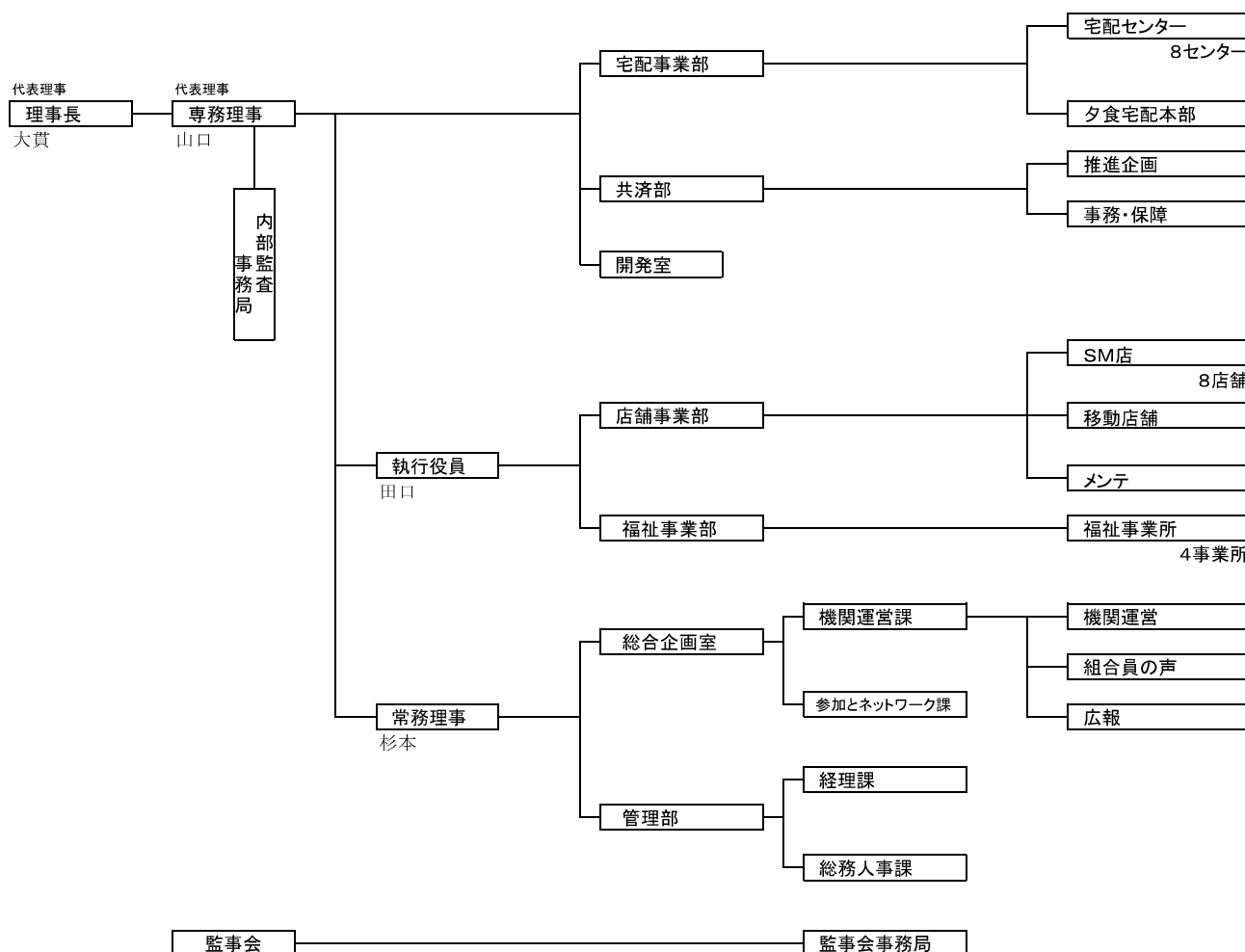
(注) ① パート職員(アルバイト職員含む)の正規換算は、正規所定労働時間で換算しています。
 ② ()内は、コープデリ連合会他への出向者を含みます。

(5) 業務の運営の組織に関する事項

① 生協の組織（2025年3月11日現在）



② 経営の組織（2025年3月11日現在）



(6) 施設の設置状況に関する事項

施設一覧表

2025年3月20日現在

施設名 区 分	所 在 地	土地面積 (㎡)	建 物		摘 要
			延べ床面積(㎡)	店舗売場面積(㎡)	
(1) 本部					
本部	桐生市相生町1-111	14, 185	4, 496	-	1F桐生センター 含
(2) 店舗					
SM店					
コープ東久方店	桐生市東久方町2-2-20	(528)			
		4, 684	1, 142	759	
コープ新井店	太田市新井町533-2	(4, 502)			
		5, 127	1, 570	981	
コープ中野店	邑楽郡邑楽町中野4435	(10, 897)	5, 864	1, 500	
コープ昭和店	前橋市昭和町3-30-9	(1, 598)			
		5, 351	1, 454	917	別棟組合員室含む
コープ宮子店	伊勢崎市宮子町3523-1	(7, 716)			
		7, 978	2, 171	1, 474	
コープ寺尾店	高崎市寺尾町552-1	(10, 757)			2024年11月22日改装開店
		12, 994	3, 305	2, 136	
コープ藤岡店	藤岡市藤岡字白塩道南2390-1	(13, 895)			
		18, 723	5, 818	4, 845	
コープみさと店	高崎市箕郷町上芝501-1	(22, 861)	8, 463	6, 102	
(3) コープデリ宅配センター					
桐生センター	桐生市相生町1-111		1, 397	-	(本部面積に含む)
				-	
太田センター	邑楽郡邑楽町大字中野3417	8, 028	1, 868		
前橋センター	前橋市五代町984-1	11, 378	3, 144	-	
北部センター	渋川市金井450-1	(2, 750)		-	
		3, 425	1, 016		
沼田センター	沼田市岡谷町698-1	(524)			
		3, 869	845	-	
藤岡センター	藤岡市篠塚485-7	7, 155	1, 781	-	
富岡センター	富岡市田島223-1	5, 859	1, 825	-	
高崎センター	高崎市八幡町397-2	(4, 929)	(1, 654)	-	
(4) 介護福祉事業所					
コープケアあいおい居宅介護	桐生市相生町1-113-1	3, 080	1, 874	-	(土地は本部面積に含む)
〃 訪問介護					
〃 デイサービス					
〃 訪問看護					
サービス付き高齢者向け住宅 「虹の丘 あいおい」					
(5) その他					
相生テナント	桐生市相生町2丁目字清水通282-10	3, 472	416	-	
安中	安中市郷原字字原239-4	4, 032			
前相生店	桐生市相生町2丁目617～620	3, 620			
旧吉井店	高崎市吉井町本郷道六神66-6	1, 453	236	-	
前中野店	邑楽郡邑楽町新中野29-1	(2, 984)	1, 446	-	
元相生店	桐生市相生町2丁目466-14	620			
旧細井店	前橋市上細井町1968	(5, 294)			
		11, 570	2, 184		
旧東毛センター他7カ所		(2, 353)	(276)	-	
		9, 408			

(注) ① () の数字は賃借部分の面積を表示しています。

② 寺尾店・藤岡店の建物(売り場面積)には、テナントを含んでいます。

(7) 子法人等および関連法人等の状況に関する事項

①子法人等および関連法人等の概要

該当する事項はありません。

②子法人等および関連法人等の決算概況

該当する事項はありません。

(8) 連合会の状況に関する事項

① 連合会の概要

(2025年3月20日現在)

連 合 会 名	コープデリ生活協同組合連合会					
代 表 者 名	理事長 熊崎 伸					
設 立 年 月 日	1992年7月21日					
事 業 内 容	1. 会員の事業に必要な物資を購入し、これに加工し若しくは加工しないで、又は生産して会員に供給する事業 2. 会員及びこの会の役職員のこの会の事業に関する知識の向上を図る事業 3. 前各号の事業に附帯する事業（定款第3条）					
設 立 の 理 由	協同のちからで、店舗の多数店展開によって戦略的業態である店舗事業を確立することを主軸に、さらに基幹業態である共同購入の深耕、組合員の生活領域に対応したサービス事業の構築など事業の総合的な発展をはかります。あわせて、生協間の交流、共同研究、統一行動をつうじて生協の事業、経営、組織、運動の各分野の飛躍的向上をはかり、21世紀をみすえた、組合員のくらしと社会に役立つ生協の発展に貢献します。（設立趣意書抜粋）					
出資金および総口数	出 資 金	35,332,000千円		総 口 数	35,332口	
当生協の出資額および口数	出資金額	2,042,000千円		出資口数	2,042口	
当生協の議決権	議決権割合	8.06%				
決 算 月 日	3月20日					
所 在 地	埼玉県さいたま市南区					
出 資 生 協	生活協同組合コープみらい	出資口数	24,834口			
	いばらきコープ生活協同組合	出資口数	2,464口			
	とちぎコープ生活協同組合	出資口数	1,716口			
	生活協同組合コープぐんま	出資口数	2,042口			
	生活協同組合コープながの	出資口数	2,646口			
	生活協同組合コープデリにいがた	出資口数	1,630口			
当生協の関係役員	常任理事	山口 真司	非常勤	無給	コープぐんま	専務理事
	理 事	大貫 晴雄	非常勤	無給	コープぐんま	理 事 長
	理 事	新井 弓佳	非常勤	無給	コープぐんま	理 事

(注) 当生協の関係役員は、コープデリ連合会の法定役員のみ表示しています。

② 連合会の決算概況

(単位：千円)

資産・負債・純資産の状況		
法人名	コープデリ生活協同組合連合会	
科目\決算期	第33期事業年度（2025年3月20日現在）	
資産の部	流動資産	94,414,263
	固定資産	57,616,002
	資産合計	152,030,266
負債の部	流動負債	83,331,951
	固定負債	18,656,648
	負債合計	101,988,599
純資産の部	出資金	35,332,000
	剰余金	14,709,667
	純資産合計	50,041,667
負債および純資産合計		152,030,266
損益の状況		
科目\決算期間	2024年3月21日～2025年3月20日	
供給高	414,875,371	
供給剰余金	6,495,382	
事業剰余金（△損失金）	1,018,866	
経常剰余金	3,259,919	
当期剰余金	2,712,288	
当期末処分剰余金	3,039,667	

③ 連合会との取引等の状況

(単位：千円)

取引の内容	仕入	分担費	その他
取引高	25,997,771	660,635	1,120,960
総仕入高対取引高率	99.6%		

④ 連合会との取引の内訳

(i) 分担費の内訳

(単位：千円)

勘定科目	取引の内容	取引高
分担費	基本分担金、業務分担金（店舗・コープデリ宅配・品質管理・システム）、その他	660,635

(ii) その他の内訳

(単位：千円)

勘定科目	取引の内容	取引高
事業広報費	コープデリ商品案内、宣伝演出ツール、OCR注文用紙、その他	563,118
消耗品費	ドライアイス、その他	158,628
委託料	チラシセット業務、その他	187,781
その他	新聞折込チラシ、その他	211,431
合 計		1,120,960

（９）その他組合の運営組織の状況に関する重要な事項

内部統制に関する基本方針

コープぐんま（以下、「当生協」という）は、法令・社会規範およびその精神を順守し、高い倫理観と志をもって公正かつ透明、正直な事業活動を進め、コープデリグループ（以下、「グループ」という）の理念「ＣＯ・ＯＰとともに はぐくむ くらしと未来」およびビジョン「食べるしあわせ、自分らしいくらし『ともに』」の力で、笑顔の明日を」の実現を目指します。

当生協は、「業務の有効性及び効率性」「財務報告の信頼性」「事業活動に関わる法令等の順守」「資産の保全」の４つの目的を達成するために内部統制に関する基本方針（以下、「基本方針」という）を、次の通り定め、体制を整備します。

なお、基本方針の推進と課題対応等について、当生協は代表理事が責任者として内部統制を統括する機能を担います。

グループは、コーポレートガバナンスの基本的考え方を整理しています。内部統制についても、グループとして整備を行いともにすすめます。

１．理事、執行役員および職員の職務の執行が、法令および定款等に適合することを確保するための体制

- （１）理事、執行役員および職員が、法令および定款等を順守し、確固たる倫理観をもって事業活動を行う組織風土をさらに高めるために、グループの「行動規範」「役職員の行動指針」を推進します。
- （２）グループの「コンプライアンスの考え方」にもとづき、考え方の具体化や重要な施策の具体的実践を図るとともに、コンプライアンスを継続的に推進強化します。
- （３）職員・パート職員・派遣職員のコンプライアンス意識の醸成と定着を推進するため、コープデリ連合会（以下、「連合会」という）のコンプライアンス担当と協力して、教育研修と行動提起を継続的に行います。また牽制機能がはたらく仕組みづくりを進めます。
- （４）内部通報情報等を受け付けるために、「相談室（ヘルプライン）運営要領」等にもとづき、連合会と協力してグループの相談室（ヘルプライン）および外部通報窓口を設置します。また、その相談事実が重要な場合は、すみやかに調査と是正を行う体制を推進します。通報したことを理由にした不利益な取扱いはい行いません。
- （５）内部監査部署は、「内部監査規程」にもとづき、当生協の事業運営が法令・定款および諸規程等にもとづいた適正なものになっているか、適宜、必要な内部監査を実施します。
- （６）社会からの信頼の一層の向上に資するために、「公認会計士監査規則」にもとづき、監事による監査の他、当生協とは特別の利害関係のない公認会計士等による監査を受け、その監査報告書を総代会に開示します。

２．理事の職務執行に関わる情報の保存および管理に関する体制

- （１）当生協の事業および財務の状況に関する情報の開示については、「情報開示に関する規則」にもとづき、組合員に対する説明責任の観点から、その適切な運用を行います。
- （２）理事の職務の執行に関わる情報については、「文書管理規程」にもとづき、管理対象とする文書、保存年限、保存形態、主管部署および保存場所等を明確にして保存します。

３．損失の危険の管理（以下、「リスク管理」）に関する規程その他の体制

- （１）「リスク管理規程」にもとづき、定期的にリスクアセスメントを行い、事業および活動におけるリスクを常時把握します。優先順位を評価した上で、リスクの種類ごとに担当部署を明確にし、リスク回避またはマイナスの影響を最小限に低減するリスクコントロールを行います。
- （２）組合員に報告する決算関係書類の信頼性を確保するために、決算関係書類の適正性に係るリスクを識別し、対応する仕組みの整備をすすめます。
- （３）食品安全上の事故予防と、迅速なクライシス対応による被害拡大防止等に対応するために、「食品安全・品質保証規程」にもとづき、組合員・消費者への食品の安全性確保および品質保証を確保します。
- （４）個人情報の保護を適切に行うために、「個人情報保護規程」にもとづき、取り扱う個人情報を管理するための体制を推進します。
- （５）保有する情報資産を、改ざん・破壊・情報漏えいから保護するための「情報セキュリティ規程」にもとづき、保有情報の棚卸を行い、情報の管理区分にそった情報管理を行います。

- (6) 事故・事件・クライシスや震災等の自然災害の事前の備え及び事後の対策に適切に対応するためのマニュアルの整備を行い、発生時の対応の教育訓練をはかり、迅速で機動的な危機管理体制を推進します。

4. 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

- (1) 理事会は、「理事会規則」にもとづき、理事の職務の執行が効率的に行われるよう業務執行・運営に関する重要事項を審議・決定します。
- (2) 毎週行われる常務理事会で、理事会決議事項以外の重要事項について、迅速な意思決定を行い、構成員より業務執行に係る報告を受け、情報の共有化を図ります。
- (3) 職務を効率的かつ適切に行うために、「経営組織管理規則」「職務権限規程」「業務分掌規程」にもとづき、各部門の職務権限を明らかにして事業執行を行います。

5. 監事とその職務を補助すべき職員を置くことを求めた場合における当該職員に関する事項および監事監査が実効的に行われることを確保するための体制

- (1) 代表理事は、監事による監査の実効性を高め、監査職務の円滑な遂行を確保するために「監事会規則」および監事監査基準にもとづき、監事の職務を補助する職員（兼任を含む監事スタッフ）を配置します。
- (2) 代表理事は、監事スタッフの理事からの独立性を確保するために、その任命、異動にあたっては、監事と協議を行い執行します。
- (3) 監事スタッフは、監査業務に必要な事項については監事の指示にもとづき行動します。代表理事は、その評価についても監事の意見を聴取し、反映します。
- (4) 代表理事は、定期的に監事と会合を持ち、事業と活動の健全な発展に向けて意見交換を図り相互認識を深めます。
- (5) 代表理事は、業務の適正を確保する上で重要な職務執行の会議への監事の出席の確保、ならびに必要な情報の提示に努めます。

6. 監事への報告に関する体制

- (1) 代表理事は、職務執行に関する重大な法令・定款違反もしくは不正行為の事実、または当生協に著しい損害を及ぼすおそれのある事実があることを発見したときは、直ちに当該事実を監事に報告します。
- (2) 代表理事は、当生協の内部統制の整備状況に関する内部監査結果を監事の監査に供します。
- (3) 代表理事は、内部統制に重大な影響を及ぼす意思決定を行ったときは、遅滞なく監事に報告します。
- (4) 代表理事は、当生協の内部統制の整備状況について監事から報告や調査が要請されたときは、すみやかにこれに応じます。

2010年1月 8日制定
 2012年3月 9日改定
 2014年3月14日改定
 2017年8月10日改定
 2018年9月14日改定
 2019年3月 8日改定
 2020年7月10日改定
 2024年4月12日改定
 2024年7月12日改定

＜内部統制^(※1)の整備状況報告＞

「内部統制に関する基本方針」（以下、「基本方針」という）に基づき、内部統制の整備（構築と運用）を進めています。

基本方針に掲げた項目は全体としては概ね整備が進められており、今後は引き続き基本方針に基づく運用をさらに定着させていきます。以下内部統制の整備状況について報告します。

【コンプライアンス^(※2)体制】

生協内での徹底を図るために「コンプライアンスの考え方」「行動指針」「行動規範」を制定しています。「ビジョン 2035」の策定に伴い、「行動規範」を見直し改定しました。「コープデリグループ ハラスメント防止・対策に関する基本方針」を制定し浸透を図りました。昨年度に引き続きコンプライアンス全体学習を全事業所で実施しました。行動指針の浸透にあたっては、「イイネ！推進委員会」^(※3)を定期開催し、浸透の取り組みを組織的に進め、実践事例を通して行動指針の共有を促進しています。

【情報管理体制】

文書管理規程に基づき、文書管理状況の点検を進め、ほぼ基準どおり管理されていることを確認しました。規程類の改定情報は月次で把握し公開しています。内部統制に関わる主要規程類の見直しを進め、必要な改定が完了しました。

【リスク管理^(※4)体制】

コープデリグループ全体で 690 項目のリスクを識別し評価を行い、内 262 項目を重点リスクに設定し、月次での進捗管理を進めました。コープぐんまでは、3 つの重点リスク（安全運転、食品安全、コンプライアンス）について月次のリスク管理表で進捗を確認しています。

働きやすい職場づくりに向けて労務管理対策会議や各業態会議で推進し、職場環境の整備と実労働時間の削減に取り組んでいます。

「決算関係書類の信頼性」を確保する取り組みとして、「業務プロセスに係る内部統制」の整備を進め、宅配事業および店舗事業の仕入から供給までの業務フロー等を検証し修正しました。2022 年度退職給付決算数値に誤謬が発生した為、連合会経理部と連携し、再発防止に取り組みました。

食品安全・品質保証にかかわる取り組みとして、全ての部署を対象にした組織横断的な会議（食品安全・品質保証委員会）を毎月開催し、課題を明確にし、その解決・対応に取り組んでいます。

情報セキュリティについては、隔月開催の情報セキュリティ委員会で課題の進捗管理を行い、サイバーセキュリティ対策や情報漏えい対策などセキュリティレベルの強化に向けた取り組みを進めています。また、標的型攻撃メール訓練（年 2 回）やコープデリ外部に Gmail でファイルを送信する仕組みの変更によるセキュリティ強化を実施しました。

自然災害対応では、2024 年 7 月に安否確認の新システムへの移行を行い、全役職員を対象に登録を進めました。また 2025 年 2 月にコープデリグループの BCP 検証訓練を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策については、5 月に基本方針に基づく対応を終了しました。2020 年 1 月末に事務局を立ち上げ、約 4 年間にわたる体制が終了しました。また、これまで実施してきた基本的な感染症対策や対応を「新型インフルエンザ等対策書」に加筆し改定しました。

【効率性確保体制】

理事会は、「理事会規則」に基づき、理事の職務の執行が効率的に行われるよう業務執行・運営に関する重要事項を議決しています。

【業務の適正確保体制】

内部監査は、定型内部監査等を計画的に進めており監査結果を定期的に専務理事に報告の上、常務理事会に報告しています。

【監査環境の整備、監事への報告体制】

監事へは、重要会議等への参加の保障や代表理事等との定期的な会合の実施および必要な情報の提示など、監査環境の実効性を確保できる環境を整備しています。監事会には、兼任の事務局担当職員を配置し、監事監査が円滑に進められるようにしています。

【IT の内部統制】

2021 年度下期からのシステム開発に関わる規程やガイドライン、プロジェクト運営の見直し、2022 年 10 月 21 日付「情報システム開発規程」改定以降も品質管理の改善を継続しています。また、従来通り「IT 統制（生協全体）」、「IT 全般統制」の評価項目を設定し、整備状況を確認しています。

【決算・財務のプロセス】

決算・財務のプロセスについては、財務の視点で補強する項目を「内部統制の評価シート」に設定し、現状調査を実施し改善課題を明確にしています。

【用語解説】

- ※1 内部統制：組織の目的を達成するために、組織内で仕事をする人全員が守らなければならないルールや仕組みを整備し、それらに基づき、適切に業務を行っていくことです。
- ※2 コンプライアンス：「法令等の順守」ですが、法律や条例だけでなく、生協が制定した規則・規程やルールおよび社会的規範などを含めて順守していくことです。
- ※3 イイネ！推進委員会：行動指針の実践と交流を推進する委員会から一步進めて、褒め、認め合うコミュニケーションを推進する委員会として、「行動指針浸透推進委員会」を改名しました。
- ※4 リスク管理：リスク評価の結果をふまえて、すべての関係者と協議しながら、リスク軽減のための政策・措置について技術的な可能性、費用対効果などを検討し、適切な政策・措置を決定、実施することです。

3. その他の組合の状況に関する重要な事項

該当する事項はありません。